

9月20日
(金)

展示
ホール
ポスター

3 P 005 マミズクラゲ *Craspedacusta*
*sowerbii*の全生活環と若干の問題点

° 加藤憲一・角谷正朝・田部雅昭・長谷川恭子・座
波純子(大阪教育大学・教養・自然)・野田幸一
(都老人研・超微形態)

「マミズクラゲの雌雄を得、その発生を見ること
のできるのは極めて稀で、ラッキーなこと(Lytle,
1982)」と言われているが、幸運にも、我々は雌雄
の水母を得ることができて、発生過程を追跡する
ことができた。卵割→プラヌラ形成→フラストレ形成
→ポリプ形成の経時的概略は把握できたと同時に、
フラストレ形成は被膜中で遂行されるなどの新事実
も判明できた。ポリプからはポリプ芽以外に、フラ
ストレ芽や水母芽も形成するが、それらの形成様式
についても詳細に報告する。